



2021 年 3 月 29 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(東証一部：8739)

**「未来創生 2 号ファンド」
世界最高精度の全遺伝子発現解析技術を用いた創薬・再生医療プラットフォームを提供する
株式会社ナレッジパレットへの資金調達に合意**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、世界最高精度の全遺伝子発現解析技術を有するスタートアップである株式会社ナレッジパレット（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：團野宏樹。以下、ナレッジパレット社）のシリーズ A 資金調達（金額は非開示）に合意しましたので、お知らせいたします。ナレッジパレット社は今回の資金調達を活用し、研究開発および人材採用を行い、創薬・再生医療プラットフォーム構築を加速させます。

■投資先企業の概要

ナレッジパレット社（2018 年創業）は、創薬および再生医療高品質化の研究開発を行うバイオテクノロジーカンパニーです。團野 CEO が理化学研究所在籍時に共同開発した 1 細胞全遺伝子発現解析技術「Quartz-Seq2」を用いることで、細胞機能を網羅的、高精度、低コストで解析することができるコア技術を有しています。このコア技術は著名な研究所および企業が参加した国際ベンチマーキング大会において世界最高精度と評価されています。そして人工知能技術（AI）を掛け合わせることで、創薬探索および再生医療の開発・製造を改善し、加速させる研究開発サービスの提供を開始しています。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半年には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2021 年 2 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、883 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com